

OpenText™ Identity Console CE 24.4 (v1.9) リリースノート

2025 年 1 月

OpenText Identity Console 24.4 (v1.9) では、さまざまな新機能が追加され、以前のいくつかの問題が解決されています。これらの改善の多くは、お客様からのご提案に直接応えることによって実現しました。皆様の貴重なお時間とご意見に感謝いたします。弊社の製品が皆様のご期待に添えるよう、引き続きお力添えを賜りたく存じます。

詳細と最新のリリースノートについては、[Identity Console マニュアル \(https://www.netiq.com/documentation/identity-console/\)](https://www.netiq.com/documentation/identity-console/) の Web サイトを参照してください。この製品をダウンロードするには、[ソフトウェアのライセンスとダウンロード \(https://sld.microfocus.com/\)](https://sld.microfocus.com/) の Web サイトを参照してください。

- ◆ 1 ページの「新機能」
- ◆ 5 ページの「インストールまたはアップグレード」
- ◆ 5 ページの「サポートされているアップグレードパス」
- ◆ 5 ページの「Open Text への連絡」
- ◆ 6 ページの「保証と著作権」

新機能

このリリースでは、次のアップデートが提供されています。

サポートされているオペレーティングシステム

このリリースでは以下のプラットフォームのサポートが追加されました。

- ◆ Red Hat Enterprise Linux (RHEL) 8.8、8.9、8.10、9.2、9.3、および 9.4
- ◆ SUSE Linux Enterprise Server (SLES) 15 SP3、SP4、SP5、および SP6
- ◆ Docker 内 : Red Hat Universal Base Image 9.5

対応ブラウザ

このリリースでは、次のブラウザをサポートしています。

- ◆ Google Chrome
- ◆ Mozilla Firefox
- ◆ Microsoft Edge

ブランディングの変更

Micro Focus は現在、OpenText の一部です。OpenText ブランドに従うため、製品名、ロゴ、会社名の参照、およびマニュアルが更新されています。OpenText のバージョンメカニズムでは CY.Q (暦年 . 四半期) という形式を使用します。1.9 リリースから、OpenText Identity Console は OpenText のバージョン規則に従います。NetIQ Identity Console 1.9 は、OpenText™ Identity Console CE 24.4 (v1.9) と呼ばれます。

TLS 1.3 および OpenSSL 3.0 のサポート

OpenText Identity Console は、最新の TLS プロトコルを OpenSSL 3.0 と共に使用して、OpenText eDirectory および他のアプリケーションとのネットワーク上での安全な通信を実現します。詳細については、「[LDAP オブジェクトを環境設定する \(https://www.netiq.com/documentation/identity-console/identity_console-admin/data/manage-ldap-objects.html\)](https://www.netiq.com/documentation/identity-console/identity_console-admin/data/manage-ldap-objects.html)」を参照してください。

CA 証明書の自動フェッチ

OpenText Identity Console のインストール中に、CA 証明書の自動フェッチを有効にできるようになりました。これにより、システムは、OpenText Identity Console にログインしている間に、CA 証明書を cert フォルダに自動的にコピーできます。詳細については、『[OpenText™ Identity Console CE 24.4 \(v1.9\) インストールガイド](#)』を参照してください。

Windows 上での OpenText Identity Console ワークステーションのポート番号の設定

Windows に OpenText Identity Console Workstation をインストールするときに、edirapi_win.conf ファイルの listen パラメータを編集して、製品がリッスンするポートを指定することにより、ポート番号を設定できます。詳細については、「[Windows での OpenText Identity Console Workstation のインストール](#)」を参照してください。

依存するコンポーネントの更新

このリリースでは、次のコンポーネントがサポートされています。

- ◆ OpenSSL 3.0.15
- ◆ NCI 3.3.0

セキュリティ脆弱性についての修正

このリリースでは、ソフトウェアバージョンの公開、不足しているセキュリティヘッダ、CORS における任意のオリジン、および認証バイパスに関する、OpenText Identity Console のセキュリティ上の問題が解決されています。

- ◆ CVE-2024-8204
- ◆ CVE-2024-8203
- ◆ CVE-2024-8202
- ◆ CVE-2024-8206

ソフトウェアの修正

このリリースには、次のソフトウェアの修正が含まれています。

コンポーネント	Global ID	説明
Identity Console	OCTCR56A656403	OpenText Identity Console で新しい CA 証明書を管理できません。 修正 : ユーザは新しい CA 証明書を使用してツリーに接続できます。
	OCTCR56A636138	OpenText Identity Console で、ドライバマッピングテーブルの正しいリストではなく、ドライバマッピングテーブルの複製が表示されます。 修正 : ドライバマッピングテーブルに固有の値が表示されるようになりました。
	OCTCR56A637136	OpenText Identity Console が、IDM ドライバの認証 ID パラメータを誤って変更します。 修正 : IDM ドライバのフォームが保存された後、認証 ID が正しく更新されるようになりました。
	OCTCR56A646057	OpenText Identity Console のカスタムフォームで、ユーザは iManager と同数の属性を追加できません 修正 : ユーザは iManager と同数の属性を追加できます。
	OCTCR56A571953	ブラウザが英語以外の言語に設定されている場合、ドライバステータスビューが正しく表示されません。 修正 : OpenText Identity Console がサポートしているすべての言語でドライバステータスが正しく表示されます。
	OCTCR56A602238	インデックス管理のドロップダウンリストが消えるのは、ドロップダウンリスト矢印をクリックしたときのみです。 修正 : ドロップダウンリストを閉じるためにリストの矢印をクリックする必要がなくなりました。

コンポーネント	Global ID	説明
	OCTCR56A656003	IDM 使用状況のメトリクスおよび IDM ドライバの配布チャートが、結果に 7 つ以上のドライバタイプが表示されると読み取り不能になります。 修正 : ユーザはシームレスにドライバを検索し、すべてのドライバの詳細を表示できます。
Identity Console ダッシュボード	OCTCR56A573877	詳細ビューで [ワークオーダー] フィルタが表示されなくなります。 修正 : [ワークオーダー] フィルタが詳細ビューに表示され、ドロップダウンに正しい値が表示されます。
Identity Console - IDM	OCTCR56A648156	OpenText Identity Manager 管理で、[電子メールサーバオプション] の設定を保存するためにユーザ ID とパスワードが必要になります。 修正 : OpenText Identity Console 1.9 以降では、[資格情報を使用してサーバに認証する] チェックボックスを有効または無効にして設定を保存することを選択できます。
オブジェクト管理	OCTCR56A602039	[すべての利用可能なタイプ] で「特定の CN (specific CN)」を検索すると、検索フィルタが「すべて (all)」ではなく「一部のオブジェクトクラス (some Objectclasses)」に設定され、結果の一部が表示されません。 修正 : ユーザは [すべての使用可能なタイプ] フィルタを選択すると、すべての異なるタイプのクラスと属性を検索できます。
	OCTCR56A573856	新しく作成された WorkOrder オブジェクトに 2 つの「cn」属性が含まれます 修正 : WorkOrder オブジェクトは単一の「cn」属性を作成します。
グループ管理	OCTCR56A571980	LDAP または eDir マッピングがカスタムのクラスおよび属性に対して設定されていない場合、OpenText Identity Console が機能しません。 修正 : ユーザは LDAP 属性をマップし、詳細検索に使用できます。
パーティション管理	OCTCR56A656001	[レプリカビュー] ページで SubRef を読み書き可能レプリカとして追加または変換するとエラーが発生します。 修正 : エラーを防ぐため、SubRef は編集または削除できないようになりました。
証明書管理	OCTCR56A675039	証明書の検証に失敗するため、OpenText Identity Manager 4.8.7 から電子メールを送信できません。 修正 : OpenText Identity Console 1.9 では、証明書検証エラーなしで OpenText Identity Manager から電子メールを送信できます。

システム要件

必要な前提条件、コンピュータの要件、インストール、アップグレード、または移行については、『[OpenText Identity Console のインストール](#)』の「[OpenText Identity Console のインストール計画](#)」を参照してください。

インストールまたはアップグレード

[[ソフトウェアライセンスとダウンロード \(https://sld.microfocus.com/\)](https://sld.microfocus.com/)] ページにログインし、ページの指示に従ってソフトウェアをダウンロードします。OpenText は、OpenText Identity Console をインストールするために tar.gz または .zip ファイルを提供しています。

Docker の場合 :	IdentityConsole_190_Containers.tar.gz
スタンドアロンインストールの場合 :	IdentityConsole_190_Linux.tar.gz
Windows ワークステーションの場合 :	IdentityConsole_190_workstation_win_x86_64.zip

インストール

OpenText Identity Console のインストールプロセスは、インストール先のプラットフォームによって異なります。適切なセクションを選択してください。

OpenText Identity Console の Docker コンテナとしてのインストール

OpenText Identity Console のインストールの詳細については、「[OpenText Identity Console の Docker コンテナとしてのインストール](#)」を参照してください。

スタンドアロンの OpenText Identity Console のインストール (非 Docker)

OpenText Identity Console のインストールの詳細については、「[スタンドアロンの OpenText Identity Console のインストール \(非 Docker \)](#)」を参照してください。

ワークステーションとしての Windows 上の OpenText Identity Console のインストール

OpenText Identity Console のインストールの詳細については、「[Windows での OpenText Identity Console Workstation のインストール](#)」を参照してください。

サポートされているアップグレードパス

OpenText Identity Console へのアップグレードの詳細については、『[OpenText™ Identity Console CE 24.4 \(v1.9\) インストールガイド](#)』を参照してください。

Open Text への連絡

特定の製品の問題については、<https://www.microfocus.com/support-and-services/> の Open Text サポートに連絡してください。

追加のテクニカル情報またはアドバイスについては、次の複数のソースを参照してください。

- 製品ドキュメント、ナレッジベース記事およびビデオ : <https://www.microfocus.com/support-and-services/>
- Open Text コミュニティページ : <https://www.microfocus.com/communities/>

保証と著作権

Copyright 2009-2024 Open Text.

Open Text、関連会社、およびライセンサ (「Open Text」) の製品およびサービスに対する保証は、当該製品およびサービスに付属する保証書に明示的に規定されたものに限られます。本書のいかなる内容も、当該保証に新たに保証を追加するものではありません。Open Text は、本書に技術的または編集上の誤りまたは不備があっても責任を負わないものとします。本書の内容は、将来予告なしに変更されることがあります。